

総合評価方式 「簡易な施工計画」の作成のポイント

受注者用

令和7年3月

富山県土木部

簡易な施工計画

【技術加算点 の評価項目及び配点】

型式		標準型	簡易型		配点
			A	B	
工事規模		1億円～	3千万～3億円	2千万～1億円	
施工に係る技術提案		●			120
基本項目	簡易な施工計画	○	●		50
	企業の施工能力 (実績・成績・表彰・ISO・技術者数)	●	●	●	60
	配置予定技術者の能力 (実績・成績・資格・CPD)	●	●		20
	企業の地域性・社会性 (所在地・災害協定・除雪実績)	●	●	●	40
評価点数		240	170	100	
技術加算点		45	30	20	

●：必須項目 ○：選択項目

課 題 (例)	回答数	配 点
①下部工施工時の安全対策に関する留意点	5項目	5項目×10点=50点
②下部工コンクリートの品質管理に関する留意点		
③施工時の交通安全対策に関する留意点		

- 3つの課題に対して、5つまで回答できる
- 最低でも3つの課題それぞれに対して1つずつ回答が必要
- 回答は「評価する (10点)」 「評価しない (0点)」 の2択で採点

回答は、現場状況等に応じた留意点 (標準的、具体的な知識や対応策) とする。

評価の判断基準(例)

◎ 評価する

- 共通仕様書・示方書・基準書 等に記載のある **一般的事項**
- 現場条件を踏まえて 適切なもの
- 記述が**具体的** であるもの
(「～を検討する」など曖昧な回答は評価されません)

当該工事において、基準書等のどの項目を守るべきかを把握していると判断できます

➡ 現場で実施することが適切な事項を「評価する」としています。

創意工夫 を求めるものではありません

✕ 評価しない

- 誤った回答
- 具体的でなく、曖昧な回答
- 第三者との協議が必要となる回答
- 施工時に発注者が確認できないような回答
- 「特記仕様書」及び「設計図面」に記載のある事項をそのまま転記したと考えられる回答

特記仕様書・図面はあくまで工事の前提条件です

➡ 現場で実施することが適切でない事項、もしくは、実施の可能性が不明確な事項を「評価しない」としています。

「簡易な施工計画」 作成のポイント ①

回答例（品質管理の場合）

【コンクリートの打込み】

均質なコンクリートを得るため、
.....、
打込みの1層の高さは、40～50cm
以下を標準とする。

【コンクリートの締固め】

コンクリートを打ち重ねる場合、
.....、
バイブレータを下層のコンクリート
中に10cm程度挿入する。

【コンクリートの打込み・締固め】

均質なコンクリートを得るため、
.....、
打込みの1層の高さは、40～50cm
以下を標準とする。

また、コンクリートを打ち重ねる場合、
.....、
バイブレータを下層のコンクリート中
に5cm程度挿入する。

誤った回答が1箇所でもあると、
正しい部分も評価されなくなって
しまいます。

「簡易な施工計画」 作成のポイント ②

回答例（品質管理・周辺環境の場合）

【コンクリートの温度管理】

日平均気温が4度以下になる場合、
.....、
打込み時のコンクリート温度は、
5～20℃の範囲に保つ。

【周辺環境への配慮】

近隣住民への騒音対策として
…を実施し、…の箇所でも騒音が
… dBを超えないようにする。

【コンクリートの温度管理】

日平均気温が4度以下になる場合、
.....、
打込み時のコンクリート温度は、
適切な温度管理を検討する。

【周辺環境への配慮】

近隣住民への騒音対策として
常時騒音を計測する。

回答が具体的でないため、
評価されなくなってしまいます。

「簡易な施工計画」 作成のポイント ③

回答例（安全管理の場合）



【施工中の安全管理】

一般車両の安全を考慮し、工事区間の前後には工事案内看板、……………
……………などの安全施設を設置し、
……………する。



【施工中の安全管理】

一般車両の安全を考慮し、工事区間の前後には工事案内看板、……………
……………などの安全施設を設置し、
車線規制を実施する。

関係者との協議が必要な項目が含まれるため、
評価されなくなってしまう。

交通規制 = 警察協議が必須

「簡易な施工計画」 作成のポイント ④

前回の回答の再利用にご注意ください

例えば下部工工事で、
前回の既製杭での回答を再利用した場合、
現場打ちの施工条件には適合していない可能性があります。